

トラクターの 転倒・転落に注意!

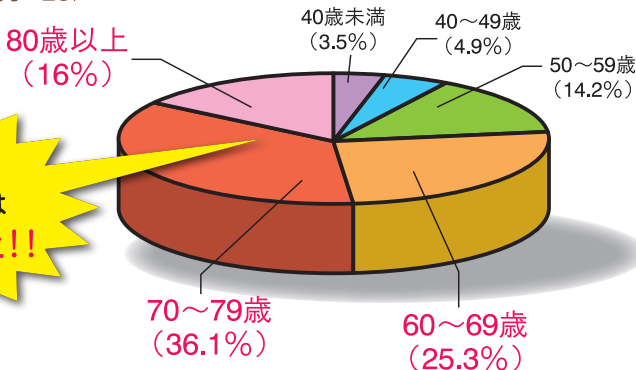
地域みんなで進めよう
農作業安全



県内で農作業中の事故によって、平成22年は15名、平成23年は11名が亡くなりました。事故は高齢者による割合が非常に高く、特にトラクターによる死亡事故のうち9割が「転倒・転落」となっています。家族や仲間同士で互いに声をかけあいながら、安全に作業を実施しましょう。

年齢別死亡事故発生状況

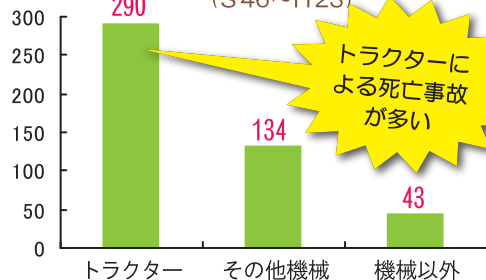
(H元~23)



死亡事故の
7割以上は
60歳以上!!

機種別死亡事故発生件数

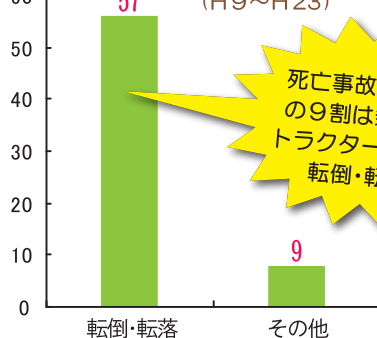
(S46~H23)



トラクターによる死亡事故が多い

トラクターでの死亡事故原因

(H9~H23)



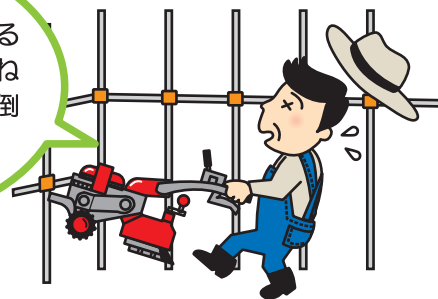
死亡事故の原因の9割は乗用型トラクターによる転倒・転落

事故防止のための注意点

転倒したトラクターの下敷きになったり、機械と立木等の間に挟まれる事故が、毎年発生しています!

- 左右・後方の安全を十分に確認する。果樹園やハウスの狭い場所で方向転換・後進するときは慎重に操作する。
- 安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用し、シートベルト・ヘルメット等を必ず着用する。
- 作業後、ブレーキペダルの連結を確認する。
- 地区で開催する農作業安全講習会などへ積極的に参加する。

狭い場所で方向転換するときは、ハンドルの跳ね上げ、急なバックで転倒しないように注意!



あっ、危ない!

でも「安全フレーム」と「シートベルト着用」で、トラクターの下敷きにならなくてよかった...

草刈り作業での重傷事故が増えています!

- 作業時は安定した姿勢を保ち、ヘルメットや保護メガネ等の「保護具」を装着する。
- 作業前に石や空き缶、木枝等を取り除き、カッターのゴミを除去するときは、必ずエンジンを切る。また、周囲に人を近づけないこと。



ゆとりをもって、安全な農作業を心がけることが大切です。万が一の事故に備えて『労災保険』に加入しましょう! 一定の要件を満たしていれば自営農業者本人が加入できる『特別加入制度』が用意されております。

春の農作業安全運動月間

5月1日(火)~5月31日(木)

長野県農作業安全推進会議・農機商組



こんなことに気をつけよう！



ト ラクターは
駆動トルクが高いため
ブレーキだけ踏んでも
止まりません。必ずクラッチ
ペダルを踏み同時にブレーキ
を踏み込んでください。

圃 場への出入りは
低速で直角に。斜め
は非常に危険です。
転倒事故の
もとです。

高 い畦の谷側
の畦草は刈り取って
おきましょう。視界不良で転
落の危険がいっぱいです。

代 かけ作業機を取り
付けた時、走行時は余裕
を持って走りましょう。
電柱や塀、植木等の障害物
にぶつかり、転倒や転落の
危険がいっぱいです。

重 い作業機を
取り付けた時は、
バランスを確保するために
バンパーウェイトを
付けましょう。



県下一斉！めざせ農作業事故ゼロ運動実施中！



車両ステッカー

